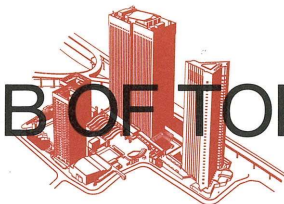




THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Build The Future with Action and Vision

築け未来を行動力と先見の眼で

1996～97年度・国際ロータリーのテーマ/ルイス・ビセンテ・ジアイ会長

国際ロータリー第2750地区

千代田分区 I M (Intercity Meeting) 特集号

回千代田分区 I M (兼第481回例会)

- 日 時 1996年10月4日(金) 12:00 登録受付開始
- 場 所 東京プリンスホテル「鳳凰の間」
- プログラムのあらまし
- 13:00 開会点鐘
- 13:30 記念講演「なにかが生まれる日」
ねむの木学園園長 宮城まり子氏
- 14:45 パネルディスカッション
「ロータリーの今日的課題」

第1部 ロータリー思想の原点と現在の潮流、

職業倫理と日本の企業風土

第2部 ロータリアン数停滞の原因と対策、

ロータリークラブの自主性

17:45 点 鐘

18:00 懇親パーティー

19:15 閉 会

ご協力ありがとうございました。

回 I M開催にあたって

千代田分区代理 沖 宏之

本日は、千代田分区のIMにご参加をいただき、誠にありがとうございます。

本年度、IMは本来の目的に沿って分区ごとに単独で開催することとなり、何分はじめての試みで、何が我々に課せられた任務なのかを熟慮し、各クラブの皆さまの温かいご支援をいただきながら企画してまいりました。

IMは元来、「インターシティ・ジェネラル・フォーラム」と呼ばれ、地域内の数クラブの全会員が集まり、ロータリーの全般的性格や4つの奉仕活動の計画等の共通問題につき、討議し意見や情報を交換し、ロータリー活動の質を高め、さらなる発展を目指すための、いわば研修の会議と位置づけられています。

この意味で、本日のIMでは、職業倫理を金看板として奉仕の活動を遂行しようとしたロータリーの思想の原点を振り返り、さらにロータリーが抱える現在の問題点は何かを探り、ロータリーが永遠の生命を維持するために何を考えるべきか等を中心として討議を行いたいと思います。

記念講演とパネルディスカッションは、この趣旨で企画いたしました。また親睦もIMの重要な目的ですので、懇親パーティーでは、皆さまが親しく話しあい、友情を深めあっていただき、この友情を明日のロータリーの活力に変えていただけたら大変幸甚に存じます。

回 I Mを終わって

会 長 河 原 勢 自

去る10月4日に、当クラブがホストクラブとなって挙行した第2750地区千代田分区のIMは無事終了いたしました。

すべてを犠牲にしつつ、IMの実行に向けて総力を傾けてくださった会員の皆様すべてに対して、深甚なる謝意を表させていただきます。

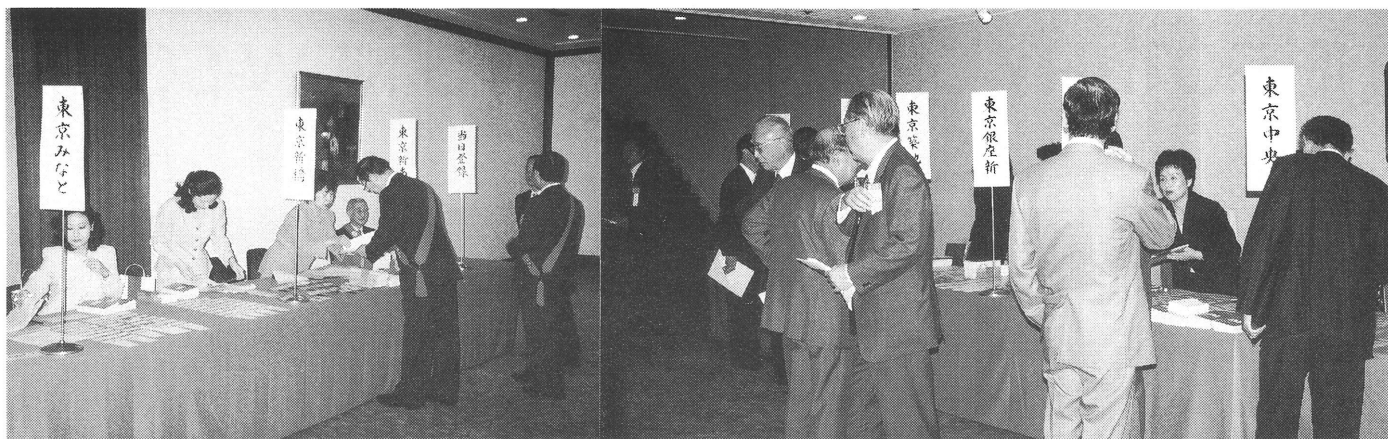
当クラブは、本年度、IMと10周年記念行事と言う2つの重要な行事を主催すべく運命づけられておりますが、とりわけ、IMは、千代田分区内の最も重要な行事であり、まさに当クラブの実力を問われる事業でした。長い間の準備にも会員全員が参加して、それぞれの役割を果たしていただきました。実行当日もまさに全員参加、堅固なスクラムを組んで前進しました。

宮城まり子氏の講演とロータリーの今日的課題と題するパネルディスカッションの2つがIMの中心テーマでしたが、懇親会の席上、すばらしいIMだったという讃辞を多数頂戴し、沖分区代理の名声はいやが上にも高まりました。

準備段階からIMには全員が参加し、全員でスクラムを組もう。成功したら、全員で美酒を飲もうと誓い合っていました。場所をかえての打上会に、例会にも劣らない程多数の会員が参加された事実をみても、戦友となって戦い抜いた会員全員の心の中に深い充足感と連帯感があふれていることがうかがわれます。

IMを機に、わがクラブは、一層連帯感を深め、大きな活力を蓄えたものと信じます。

各実行委員長はじめすべての委員の皆様に対して、声涙ともに下る思いで感謝を捧げます。



回 IM (Intercity Meeting) に参加して 青野信次

1996～97年度国際ロータリー第2750地区千代田分区IMは、13クラブ1532名の会員中、事前登録者891名、当日出席者700名の参加を得て、10月4日東京プリンスホテル鳳凰の間にて盛大に挙行された。本年度は分区ごとに開催することとなり、昨年までの千代田、山の手、京浜の3分区合同のIMと異なり、初めての試みがいくつか行われた。

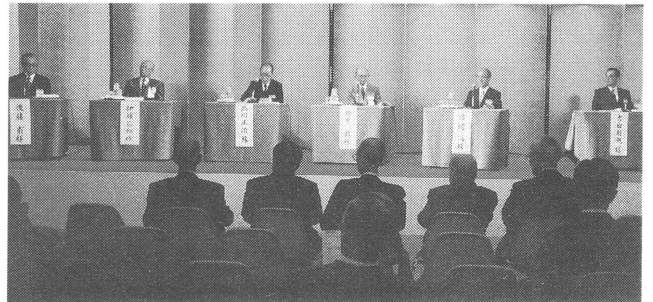
開会前には、会場でインターネットを用いてRIを始めとする各地のロータリークラブのホームページが紹介された。会場外にもインターネットの端末が設置され、多数のロータリアンが資料を片手に興味深く見守っていた。

午後1時丁度に、柳澤会員の総合司会で沖分区代理の

点鐘、開会宣言によりIMは開始された。国歌斉唱、ロータリーソング「奉仕の理想」の合唱に続き、開会挨拶（沖分区代理）歓迎の言葉（河原新南RC会長）、来賓紹介、参加クラブ紹介があり、記念寄付金贈呈（沖分区代理）を行って式典は終了した。参加クラブ紹介では13名の会長が壇上で各クラブを紹介したが、初めての試みであり新鮮に思えた。

引き続き宮城まり子氏（女優、ねむの木学園園長）による記念講演「なにかが生まれる日」が行われた。日本で最初の肢体不自由児の養護施設「ねむの木学園」を設立し、約30年にわたり貢献している姿、謙虚でやさしい語り口は、体験している方の重みがあり、聴衆の心の中に「なにかが生まれた」すばらしい講演会であった。

コーヒーブレイク後、「ロータリーの今日的課題」についてパネルディスカッションが行われた。第1部ではロータリー思想の原点と現在の潮流、職業倫理と日本の



企業風土を、第2部ではロータリアン数停滞の原因と対策、ロータリークラブの自主性をとりあげた。問題提起をされたパストガバナーの田辺さんの問い掛けに応じて、モデレーターの馬場、吉田両委員の司会で、パネラーの真剣な討議が行われた。聴衆は240名位に減ってはいたが、参加した方々には大変参考になり勉強になった中身の濃い3時間であった。

最後の懇親会は、佐藤会員の司会でなごやかな雰囲気の中で進められた。「今回のIMは、運営、記念講演、パネルディスカッションどれもすばらしかった」「これを機にクラブ内に本日の成果を持ち帰って討論を重ねたい」「今後の方向性を示唆される原点のようなIMであった」などなど、懇親会の中で他クラブの方々より沢山の感想を頂いた。懇親会の参加者は約200名、パネルディスカッションの時よりそれほど減っていなかったことが本日のIMに対する評価を物語っているように思えた。

回火曜会報告

本年度第4回火曜会が10月1日東京全日空ホテルアストラルで開催された。ビールを傾けながら、沖宏之会員（第6代会長、現千代田分区代理）から21年間の長いロータリー歴の中で味った素晴らしい経験談と、千代田分区代理としての責任と任務についての話をうかがった。「仲の良い人が集まるのは簡単、仲良しクラブ的な親睦はあまりふさわしくない、損得のないお互いの理解と熱意のあるクラブを目指しましょう」また分区代理として区内のガバナー公式訪問に同行した話、IMを主催する苦労話など、興味の尽きない話をたくさん披露して頂いた。沖会員ありがとうございました。（青野信次記）

出席者（14名）沖 宏之、河原勢自、小杉真史、川鍋二郎、佐藤定宏、荒木昭文、渡部一元、宮武保義、村川 優、渡邊 治、小原 健、四分一勝、宮本正祥、青野信次

◎本日の例会

10月11日／第482回例会

回米山月間に因んで 米山奨学会ビデオ放映

◎先々週報告

9月27日／第480回例会

回会長報告 ①臨時総会／当クラブ細則改正の件 96年6月RI理事会で改正された推奨ロータリークラブ細則の第8条第1節(j)ロータリー情報委員会及び第11条第6節の各項を満場一致で、承認した。②10月3日は当クラブの創立記念日です。③世良和信会員が9月30日付で退会します。

回幹事報告 10月の定例理事会は10/11(金)に開催します。

回出席報告●会員69名・出席50名・欠席19名 ビジター(7名 敬称略・順不同)／M^cBride (Monaghan Ireland)、金澤富夫(東京東)、小暮元一郎、島津佳夫、加藤久明(以上東京城西)、平本和子、山口玲子(以上東京神宮)

回卓話 イニシエーションスピーチ「集合住宅の過去・現在・未来」

9月27日例会

当クラブ会員 建設総合企画㈱代表取締役 宮川 弘 信



昭和20年8月、焦土と化した日本の都市に住む人達にとっては、まず住む家を確保する事と食べる物を確保する事が最大の願望であった。とりあえず雨露を凌ぐ家から狭くても家族一緒の住宅へと変わり、昭和25年に住宅を求める人達に、国が長期、低利の資金を融資する目的で発足したのが住宅金融公庫であった。

敗戦後の混乱が落ち着き、朝鮮戦争の特需景気で、日本経済が甦り始めた昭和20年代後半から都市圏への人口集中化は徐々に加速し、都市の住宅事情は悪化をたどるが、この頃から集合住宅による住宅建設が国の住宅政策の一翼を担う事となる。国が自ら集合住宅を建設、供給する為に発足したのが日本住宅公団(現在の住宅都市整備公団)である。この時代に建築された公団の集合住宅

(公団住宅)は、今でも東京の都心部に当時の面影を残している。都心に近く、「団地族」と呼ばれ、庶民の羨望のまよになった公団の良き時代であった。

所得倍増政策から始まる高度成長期には、日本の三大都市圏への人口集中は益々顕著になり、住宅事情の悪化に伴い、政策目標「一世帯一住宅」の看板が揚げられ、質より量の時代へと突入し、公団住宅が段々と都心から離れ、「遠くて狭くて高い公団住宅」と悪評を買う受難の時を迎える。経済至上主義のもと、理念無き数の追及であり、あげく、西欧から「うさぎ小屋」と揶揄されたのである。

集合住宅の建設に携わる者として反省し、住宅本来の理念である住み易さを追及し、尚、これからの高齢化社会にも配慮した高規格、高品質の集合住宅を提供し、官民あげて「量より質」の時代へと移行しなければならない。



順不同・敬称略

9月27日／13件 53,000円
本年度累計 674,041円
多額のご寄付を有難うございました。

宮川弘信／本日イニシエーションスピーチを行います。四分一勝／宮川さんのイニシエーションスピーチ、皆様よろしくお願いします。田島一郎／病中クラブから過分のお見舞品をいただき厚くお礼申しあげます。渡邊 治／久方振りに田島さんが出席されました。全快をお祝いします。荒木昭文／田島さんのお元気なお顔を拝見して。牧野吉郎／海外出張などで欠席が続きました。斎藤茂之／TGFR名古屋大会無事に終了しました。河原勢自／柴藤さんご苦労様。いよいよIMです。柴本、斎藤、馬場、宮本各委員長さん、その他の皆様、ご協力お願いします。平井逸夫／河原会長の笑顔にさそわれて。谷 義一／2週間ぶりに皆様にお会いしたので。柴田陽三／欠席が続いていますのでお詫びまでに。宮本正祥／柴藤さんにお問い合わせがありますので。柴藤清三郎／本日はニコニコ担当です。

◎10月行事予定

10月は

米 山
職業奉仕

月間です

1日(火) 火曜会 東京全日空ホテル アストラル 17:30~19:00
4日(金) RI第2750地区千代田分区IM 東京プリンスホテル 12:00~19:15
11日(金) 10月定例理事会 東京全日空ホテル 1F 孔雀の間 例会後13:40~15:00
25日(金) 例会／次年度(97~98年度)理事・役員候補者指名
25日(金)~27日(日) 96年RIアジア地域大会 タイ／バンコク
29日(火) 親睦ゴルフ会 相模原ゴルフクラブ

◎次週予告

10月18日／第483回例会

回卓話予定 イニシエーションスピーチ「社員食堂経営40年とロータリークラブ」

当クラブ会員 ㈱ニッコトラスト代表取締役社長 牧 野 吉 郎 君

東京新南ロータリークラブ

会長：河原勢自 副会長：保森 登 幹事：荒木昭文

〒107 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階

TEL.03-3505-5976 FAX.03-3505-6004

例会日●毎週金曜日 12時30分

例会場●東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111

〈会報委員〉

山下 忠治、大村 富俊、伊部 和夫、
大日方 真、柴藤清三郎、相澤 成憲、
島田 昌雄、村山 公士、川鍋 二郎、
関 征春、宮本 正祥、岩瀬 秀郎

(編集担当順)